

原著論文

小中学生を対象としたキャンプ活動が生きる力に及ぼす影響  
－性別、学校段階、キャンプ満足度に着目して－

The Effect of the Camping on IKIRU CHIKARA (Zest for Living)  
－ Focusing on Gender, School Stage and Satisfaction －

徳田 真彦<sup>1)</sup> 伊原 久美子<sup>2)</sup> 飯田 輝<sup>1)</sup> 久田 竜平<sup>1)</sup>  
高橋 宏斗<sup>1)</sup> 土屋 裕陸<sup>2)</sup>

Masahiko Tokuda<sup>1)</sup> Kumiko Ihara<sup>2)</sup> Hikaru Iida<sup>1)</sup> Ryuhei Hisata<sup>1)</sup>  
Hirototo Takahashi<sup>1)</sup> Hironobu Tsuchiya<sup>2)</sup>

Abstract

The purpose of this study was to examine the change in IKIRU CHIKARA (Zest for Living) among young teenagers who participated in camping. This study focused on gender, school stage and camp satisfaction. Ages of the participants are between 10 and 14. The IKIRU CHIKARA questionnaire developed by Tachibana et al. (2001) was administered 2 times, before and after the camp. Statistical analysis was performed using t-test and two-way ANOVA.

- 1) IKIRU CHIKARA of all the participants showed significant change ( $p < .001$ )
  - 2) No significant difference in a change in IKIRU CHIKARA was observed between genders
  - 3) Primary school pupils showed more change in "friendship" than junior high school students
  - 4) Camp satisfaction High scorers showed more change in "psychological and social ability, moral ability and physical ability than Low scorers
- ※ IKIRU CHIKARA (Zest for Living) was constituted of psychological and social ability, moral ability and physical ability.

キーワード キャンプ活動, 性別, 学校段階, キャンプ満足度, リーダー養成

---

1) 大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科  
2) 大阪体育大学

*Graduate School of Sport and Exercise Sciences  
Osaka University of Health and Sport Sciences*

## 緒言

近年、青少年を取り巻く環境は、ネットワーク環境やソーシャルネットワークサービスの発展などを受け、急激にグローバル化が進んでいる。グローバル化に伴い、素早く新たな知識や技術、情報を得られるようになったことで、それらをあらゆる領域で活動の基盤として利用していく必要性が出てきており、知識基盤社会化が進んでいるとも言われている(文部科学省, 2007)。このようなグローバル化や知識基盤社会化は、知識や人材をめぐる国際競争を加速させるとともに、異なる文化・文明との共存や国際協力の必要性を高めている。このことから文部科学省は平成8年7月の中央教育審議会答申(「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」)にて、変化の激しい社会を担う子どもたちに必要な力は、基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力などの「生きる力」を育成していく必要があるとしている。

生きる力を育成する一つ的手段として、キャンプに代表される、野外教育が挙げられる。文部科学省は青少年にとっての野外教育は、「自然の厳しさや恩恵を知り、動植物に対する愛情を培うなど、自然や生命への畏敬の念を育て、自然の中での組織的な活動はきまりや規律を守ること、協力することの大切さや、自ら実践し創造する態度を学ぶなど、体験活動を通じた総合的学習の機会を提供するもので、青少年の育成にとって極めて有効である」(文部科学省, 1996)とも述べている。

キャンプ活動における生きる力の研究を概観すると、橘ら(2001)が、生きる力を具体的な指標として概念化し「IKR (IKIRU CHIKARA) 評定用紙」を作成すると、その尺度を用いて多くの研究がなされている。長期キャンプにおいて、キャンプ前とキャンプ後

の生きる力得点を比較すると、キャンプ後に得点の向上が見られたといった報告や(橘ら, 2003; 中川ら, 2005)、短期キャンプにおいても、キャンプ後に生きる力得点の向上が見られたといった報告(青木ら, 2005; 遠藤ら, 2006; 福島ら, 2006; 大阪府キャンプ協会, 2006)がなされており、各研究によって得点が向上した能力要素は多少異なるものの、キャンプ活動が生きる力の育成に大きく関与することは証明されつつある。この他、キャンプ活動による生きる力得点の変容についての研究は多くなされているが(永井ら, 2003; 花田ら, 2004; 瀧ら, 2007; 野, 2007; 福田ら, 2009; 神田ら, 2012; 江口ら, 2012)、これまでの研究をまとめると、長期のキャンプが生きる力の育成に、より効果的ではあるが、短期のキャンプにおいても各能力要素の得点向上が見られ、長期、短期といった実施期間に関わらず、適切な目標設定やプログラミングを行い、キャンプを実施することで生きる力が育成されるものと考えられる。育成される能力に関しても、実施されるキャンプの違いによって多少異なるが、特に「心理的社会的能力」や「徳育的能力」に対して効果が高いという報告が多くなされている。キャンプの効果が得られる要因としては、より厳しい自然環境・生活環境であること、克服的要素を含んだ活動を行うことが生きる力の育成に有効であるという報告や(橘ら, 2003; 遠藤ら, 2006)、活動のフィールドや内容が大きな影響を及ぼすという報告(青木ら, 2005)、実施期間に適合した目標設定・プログラミングが必要である(中川ら, 2005; 福島ら, 2006)といった報告がなされている。その他、性差や、参加者属性による変容の違いに関しては、多くは研究が成されておらず、また報告によっても結果に違いが見られる(青木ら, 2005; 大阪府キャンプ協会, 2006; 福島ら, 2006)。

一方でキャンプ活動を通して生きる力得点が向上しなかったという報告もなされており(松田, 2005)、どのような要因が生きる力の育成に影響しているのか、参加者の属性も含

めて詳細に研究がなされていく必要があるといえる。例えば今日では、発達段階に応じた効果的な体験活動が推進されているが（文部科学省，2013）、発達段階に着目してキャンプ活動の効果にアプローチしている研究は見当たらない。しかし、発達段階の違いによってどのような効果の違いがあるのかを明らかにすることは、より効果的な体験活動の推進に繋がると考えられ、非常に重要な視点であると考えられる。さらに、性差による生きる力の向上効果の検証は各研究によって結果が異なっているのが現状であるが、性差による効果の違いを明らかにすることで、性に合わせた効果的な体験活動を提供できる可能性もあり、さらにデータを蓄積し、検討していく必要があると考える。また、キャンプの特性上、同一のキャンプ内で得られるデータは限られていることから、少人数による分析となることや、さまざまなキャンプのデータを統合して分析し、結果を報告しているものが多く、結果の信頼性という点では課題が残る。そこで本研究では、これらの課題を解決するために、参加者が100名を超える大規模なキャンプであり、さらには小学生と中学生が同時にキャンプへ参加するといったキャンプを対象とした。日本において参加者が50人未満のキャンプが77.5%を占めており（キャンプ白書，2011）、その時点で100名を超えるキャンプかつ、小学生と中学生が同時に参加するというキャンプは非常に珍しい。このことから性別や発達段階、キャンプへの満足度といった多角的な視点から、キャンプ活動の効果にアプローチすることが可能であり、今後のキャンプ活動のプログラミングや、より効果的な体験活動の選択の一助となるデータが得られるものと考えられる。

本研究の目的は、キャンプによる生きる力の変容を、性差、学校段階、満足度別に明らかにすることである。

## 研究方法

### 1. 調査対象及び手続き

本研究の調査対象は、平成27年8月12日

から14日にかけて2泊3日で行われた、公益社団法人和歌山県青少年育成協会が主催する、リレー式次世代健全育成事業地域ユース・ジュニアリーダー養成キャンプに参加した106名を対象とした。調査実施に先立って、本事業の責任者、施設職員に調査協力を依頼し、調査承認を得た。さらに調査当日、調査対象者には調査に関する説明を行い、調査協力の同意を得た。調査はキャンプが始まる開講式直前と、キャンプが終わる閉校式直前の2回実施し、その場で調査用紙を回収した。分析対象者は、データに欠損があった16名を除いた90名（有効回答率84.9%）であった。分析対象者の平均年齢は11.4歳（ $SD = 1.1 : 10 \sim 14$ 歳）であった。男女の人数は男性46名、女性44名で、学年構成は、小学生55名（5年生32名、6年生23名）、中学生35名（1年生24名、2年生11名）であった（表1）。

表1 分析対象者

|     | 男 女 計 |    |    |    |
|-----|-------|----|----|----|
| 小学校 | 5年生   | 16 | 16 | 32 |
|     | 6年生   | 15 | 8  | 23 |
| 中学校 | 1年生   | 11 | 13 | 24 |
|     | 2年生   | 4  | 7  | 11 |
|     |       |    |    | 90 |

### 2. キャンプの概要

本キャンプは、子どもたち自身が地域の子どもたちを育成し、次の世代を育てていくという仕組みをつくりだすとともに、地域における健全育成の体制づくりを行うこと、また青少年教育施設における非日常の体験学習を通じて主体性を育む体験活動を進めることにより、自然への理解を深め、友達の大切さや団体のリーダーとしての役割を深めることを目的として行われているキャンプである。毎年春と夏の2回、それぞれ2泊3日で行われている。

本キャンプでは、野外炊事やテント泊といった基本的な野外生活技術を身に付けるプログラムだけでなく、自然と親しむ活動であるオ

リエンターリング活動や、キャンプファイヤーなども行われた。また、メインプログラムとして「白崎プロジェクト」と称し、間伐、枝打ち、道づくりなどといった、手つかずとなっていた森を再生するという活動を行った。本キャンプの目的に、子ども達同士で教え合うような体制づくりということが含まれていることから、白崎プロジェクトに関しては、中学生が中心となって小学生を指導するというような体制を取った。そのため、小学生がナイトハイクやフリータイムを行う際に、中学生には白崎プロジェクトの企画、運営の準備時間を設けた。さらに、プロジェクトを行うにあたって、森がどのような状態にあるのか、気持ち良い自然とは何か、気持ちの悪い自然とは何かといった問いかけを行い、プログラムに対するレディネスを高める活動を行っている。このほか、キャンプ1日目の夜に、突然豪雨となったため、夜中12時に体育館への避難を行ったが、それ以外は計画通りプログラムが行われた(表2)。活動班は10班で編成され、年齢・性別が均等になるよう、1班11名が割り当てられた。各班には、班付きの指導員として1名ずつカウンセラーが同行した。カウンセラーは、野外教育を専門とする大学

院生、学部生、同大学の野外活動部部員が担い、基本的な野外生活技術や、対人関係スキルを身に付けている人材が指導に当たった。

### 3. 調査内容

#### 1) 生きる力

本研究では、橘ら(2001)が作成した「IKR 評定用紙」を基に、調査対象者の負担を考え質問項目が短縮されている、「生きる力評定尺度」を採択した。この尺度は、キャンプ参加者の心理的変容や、実質的な技術獲得に及ぼす効果を検討するため、生きる力を構成する上位クラスターである「心理的社会的能力」「徳育的能力」「身体的能力」全てから構成されており、上位3、下位14のクラスターから構成されている(図1)。下位カテゴリーは、「非依存性」、「積極性」、「明朗性」、「交友・協調」、「現実肯定」、「視野・判断」、「適応行動」、「自己規制」、「自然への関心」、「まじめ勤勉」、「思いやり」、「日常的行動」、「身体的耐性」、「野外技能、生活」で構成されており、それぞれ2項目の質問から成り、計28項目の調査用紙となっている(巻末資料参照)。回答形式は、「非常に当てはまる」(6点)から「全く当てはまらない」(1点)の6段階によって評価するよう求めた。

表2 キャンププログラム

| 2015年8月12日(水) |                     | 2015年8月13日(木) |                  | 2015年8月14日(金) |                    |
|---------------|---------------------|---------------|------------------|---------------|--------------------|
| 時間            | プログラム               | 時間            | プログラム            | 時間            | プログラム              |
| 8:00<br>~     | スタッフ集合・準備           | 6:30          | 起床               | 6:30          | 起床                 |
| 10:00         | 開講式・オリエンテーション       | 7:00          | 朝のつどい・清掃(トイレ、玄関) | 7:00          | 朝のつどい・清掃           |
| 11:00         | アイスブレイキング(全体)       | 8:00          | 朝食(野外炊事)         | 8:00          | 朝食(食堂)             |
| 12:00         | 昼食(弁当)              | 9:00<br>~     | 白崎オリエンターリング      | 8:40          | 部屋点検               |
| 13:00         | テント設置・野外技術講習        | 12:00         | 昼食(食堂)           | 9:00          |                    |
| 14:00         |                     | 13:00         | フリータイム(小学生)      | 10:00         | 白崎プロジェクト<br>昼食(弁当) |
| 15:00         |                     | 14:00         | 白崎プロジェクトMT(中学生)  | 11:00         |                    |
| 16:00         | 野外炊事体験              | 15:00         |                  | 12:00         |                    |
| 17:00         |                     | 16:00         | 野外炊事             | 13:00         |                    |
| 18:00         | 片付け・入浴準備            | 17:00         | 夕食パーティ           | 14:00         | 3日間のふりかえり・アンケート記入  |
| 19:00         | ナイトプログラム(小学生)       | 18:00         | 炊事片付け・キャンプファイヤー  | 15:00         | 閉講式(修了書 授与)        |
| 21:00         | 白崎プロジェクトミーティング(中学生) | 21:00         | 入浴               | 16:00         | スタッフ片付け・撤収         |
| 22:00         | 入浴                  | 22:00         | 就寝(施設泊)          |               |                    |
| 22:00         | 就寝(テント泊から急遽体育館へ避難)  |               |                  |               |                    |



図1 生きる力を構成する指標

## 2) キャンプ満足度

キャンプ満足度に関しては、「キャンプは楽しかった」というような、キャンプそのものの満足感に関する内容、「このキャンプ体験はこれからの生活に役立つ」といったような学びに関する内容、「薪割りのはたのしかった」というような具体的なプログラム内容に関する内容、の3つの観点から調査を行った。調査項目は、全部で14項目である(巻末資料参照)。なお、項目は野外教育を専門とする教員、大学院生と確認し、採択した。回答形式は、「非常に当てはまる」(6点)から「全く当てはまらない」(1点)の6段階によって評価するよう求めた。

## 3) その他

キャンプの評価及び、参加者がキャンプ活動を通してどのような事を感じているのかを把握し、本調査結果に関してより深い考察を行うために、「ふりかえりシート」を作成した。質問項目は、①「今回のキャンプを自己採点するとしたら何点ですか」、②「3日間の活動

を通して、一番思い出にのこっている出来事は何ですか。それはなぜですか」、③「自分自身と友だちとの関わりについて感じた事を書きましょう」、④「自分自身と自然との関わりについて感じた事を書きましょう」、⑤「日常生活で活かしていきたいことはありますか」といった内容であった。それぞれの質問項目について、自由に記入してもらった。回答はキャンプ参加者106名中103名から得ることができた。

## 4. 分析方法

### 4.1 生きる力の分析

分析に先立ち、記述統計量として質問項目から、上位クラスター、下位クラスター毎に合計を求め、それを基に平均値と標準偏差を算出した。続いて、キャンプによる生きる力の変容について明らかにするために、事前(pre)、事後(post)でのt検定を行った。さらに、性別、学校段階、キャンプ満足度による生きる力の変容の違いを明らかにするために、それぞれ



の属性と調査期間（以下：期間）で、2要因混合計画による分散分析を行った（性別×期間、学校段階×期間、満足度高低×期間）。全ての有意水準は5%以下とした。なお、性別については男女、学校段階については小学生と中学生、満足度に関しては中央値よりも高い得点の者を満足度高群、中央値よりも低い得点の者を満足度低群として扱った。すべての分析は統計ソフト IBM SPSS Statistics 23 を使用した。なお、先行研究に則り、キャンプ事前の生きる力得点とキャンプ事後の生きる力得点を比較した際、キャンプ事後の得点が事前の得点を上回っていた場合に、生きる力が「向上した」と捉えることとする。

#### 4.2 ふりかえりシート

①「今回のキャンプを自己採点するとしたら何点ですか」の質問項目に関しては、満足度調査のデータと重複するため本研究では扱わないこととした。②「3日間の活動を通して、一番思い出に残っている出来事はなんですか」の質問項目は記述内容を集計し、まとめた。また、③「自分自身と友だちとの関わりについて感じた事を書きましょう」、④「自分自身と自然との関わりについて感じた事を書きましょう」、⑤「日常生活で活かしていきたいことはありますか」の3つの質問項目に関しては、KJ法の手法を参考に、整理・集約を行った。自由記述で得られた回答から、参加者の様子を表している言葉を名刺サイズのカードに書きだし、同じ単語や内容を含むカード同士をまとめ、下位カテゴリーとして集約した。続いて、内容が近い下位カテゴリー同士をまとめ、上位カテゴリーとして集約した。筆者の分析が一貫した視点で行われているか共同研究者が分析過程を確認し、他の解釈が生じた場合には、意見が一致するまで議論を行うことにより確実性を担保した。なお、共同研究者は当該キャンプへカウンセラーとして参加していた、野外教育を専門とする大学院生3名であった。

これより得られたカテゴリーから、キャンプ活動を通してどのような体験をしているの

か、その特徴を明らかにすることとした。また、結果を般化しやすく、キャンプ場面において利用しやすいという観点から、キャンプ実施において区別することが少ない男女の特性を検討するのではなく、一般に区別してキャンプが行われていることが多い、学校段階別に参加者の特性を検討することとした。

## 結果

### 1. 生きる力の変容

被験者全体 ( $n=90$ ) のキャンプ前からキャンプ後にかけての生きる力得点の変化を、各クラスターの合計点を用いて、t検定（対応のある平均値の比較）を行った。その結果、キャンプ後にはキャンプ前と比べて、上位クラスターである「心理的社会的能力」、「徳育的能力」、「身体的能力」全てが有意に向上した。さらに下位クラスターである「非依存」、「積極性」、「明朗性」、「視野・判断」、「自己規制」、「自然への関心」、「日常的行動力」、「野外技能・生活」においても、有意な向上が見られた（表3）。

### 2. 性別による生きる力の変容

性別による生きる力の変容の違いを明らかにするために、上位クラスター、下位クラスターそれぞれ、性別と期間の2要因混合計画による分散分析を行った。その結果、生きる力全体、全てのクラスターに交互作用は見られず、キャンプの効果に性差は見られないということが明らかになった。上位クラスターである「心理的社会的能力」「徳育的能力」「身体的能力」すべてに「期間」の主効果が見られたことから、男女関係なくキャンプ活動を経て、能力を向上させていることが明らかになった。さらに、下位クラスターである「積極性」、「明朗性」、「視野・判断」、「自己規制」、「自然への関心」、「日常的行動力」、「野外技術・生活」においても「期間」の主効果が見られ、キャンプ活動を経て、能力を向上させていることが明らかになった。また、「非依存」に関しては、「期間」「性別」の両方に主効果が見られたことから、もともと男性の方が高い数値を

示しているながらも、キャンプ活動を通して男女関係なく、能力を向上させている結果となつた(表4)。

表3 参加者全体のIKR得点結果・t検定結果

| 能力要素     | 結果(n=90) |       |       |       | t検定     |
|----------|----------|-------|-------|-------|---------|
|          | pre      |       | post  |       |         |
|          | Mean     | SD    | Mean  | SD    |         |
| 生きる力     | 118.5    | 20.73 | 124.7 | 21.95 | 3.95 ** |
| 心理的社会的能力 | 58.9     | 11.26 | 62.0  | 11.35 | 3.54 ** |
| 非依存      | 8.4      | 1.94  | 8.9   | 2.06  | 3.65 ** |
| 積極性      | 8.2      | 2.29  | 8.8   | 1.97  | 2.87 ** |
| 明朗性      | 8.4      | 2.30  | 9.1   | 2.05  | 3.67 ** |
| 交友・協調    | 8.6      | 2.02  | 8.8   | 1.95  | 1.28    |
| 現実肯定     | 8.8      | 2.00  | 9.1   | 2.27  | 1.57    |
| 視野・判断    | 7.8      | 2.06  | 8.5   | 1.94  | 3.51 ** |
| 適応行動     | 8.7      | 1.93  | 8.9   | 1.97  | 0.94    |
| 徳育的能力    | 35.6     | 6.12  | 36.8  | 6.56  | 2.84 ** |
| 自己規制     | 8.8      | 2.18  | 9.2   | 1.87  | 2.31 *  |
| 自然への関心   | 8.6      | 2.08  | 9.1   | 2.21  | 2.90 ** |
| まじめ勤勉    | 9.3      | 1.79  | 9.4   | 1.87  | 0.53    |
| 思いやり     | 8.8      | 1.90  | 9.1   | 1.84  | 1.74 †  |
| 身体的能力    | 24.0     | 5.64  | 25.8  | 6.12  | 4.22 ** |
| 日常的行動力   | 7.7      | 2.57  | 8.3   | 2.52  | 3.16 ** |
| 身体的耐性    | 8.4      | 2.40  | 8.6   | 2.43  | 1.05    |
| 野外技能・生活  | 7.9      | 2.18  | 9.0   | 2.11  | 5.19 ** |

\*\*p<.01, \*p<.05, †p<.10

表4 性差によるIKR得点結果・分散分析結果

| 能力要素     | 性別 | 結果(男:女=46:44) |       |       |       | 2要因分散分析  |        |      |
|----------|----|---------------|-------|-------|-------|----------|--------|------|
|          |    | pre           |       | post  |       | 期間       | 性別     | 交互作用 |
|          |    | Mean          | SD    | Mean  | SD    |          |        |      |
| 生きる力     | 男  | 120.6         | 20.90 | 126.6 | 24.68 | 15.44 ** | .34    | .01  |
|          | 女  | 116.4         | 20.59 | 122.7 | 18.76 |          |        |      |
| 心理的社会的能力 | 男  | 60.6          | 10.94 | 63.8  | 12.46 | 12.42 ** | 12.42  | 2.72 |
|          | 女  | 57.1          | 11.44 | 60.1  | 9.85  |          |        |      |
| 非依存      | 男  | 8.8           | 1.78  | 9.4   | 1.95  | 13.19 ** | 5.63 * | .04  |
|          | 女  | 7.9           | 2.02  | 8.5   | 2.08  |          |        |      |
| 積極性      | 男  | 8.6           | 2.12  | 9.1   | 2.09  | 13.87 ** | 3.35 † | .00  |
|          | 女  | 7.8           | 2.43  | 8.4   | 1.77  |          |        |      |
| 明朗性      | 男  | 8.6           | 2.43  | 9.3   | 2.09  | 13.32 ** | .94    | .00  |
|          | 女  | 8.2           | 2.18  | 8.9   | 2.01  |          |        |      |
| 交友・協調    | 男  | 8.9           | 1.87  | 9.0   | 1.97  | 1.67     | 1.25   | .36  |
|          | 女  | 8.3           | 2.16  | 8.6   | 1.94  |          |        |      |
| 現実肯定     | 男  | 9.3           | 1.97  | 9.4   | 2.49  | 2.53     | 3.65 † | .85  |
|          | 女  | 8.3           | 1.93  | 8.7   | 1.99  |          |        |      |
| 視野・判断    | 男  | 7.7           | 1.82  | 8.7   | 2.12  | 12.28 ** | .34    | 1.97 |
|          | 女  | 7.8           | 2.30  | 8.2   | 1.72  |          |        |      |
| 適応行動     | 男  | 8.8           | 1.97  | 8.9   | 2.18  | 0.87     | .13    | .00  |
|          | 女  | 8.6           | 1.91  | 8.8   | 1.73  |          |        |      |
| 徳育的能力    | 男  | 35.5          | 5.91  | 36.8  | 7.25  | 7.97 **  | .01    | .01  |
|          | 女  | 35.7          | 6.40  | 36.9  | 5.84  |          |        |      |
| 自己規制     | 男  | 8.8           | 2.01  | 9.2   | 1.94  | 5.36 *   | .01    | .15  |
|          | 女  | 8.8           | 2.36  | 9.3   | 1.81  |          |        |      |
| 自然への関心   | 男  | 8.7           | 2.10  | 9.2   | 2.28  | 8.34 **  | .15    | .01  |
|          | 女  | 8.5           | 2.07  | 9.0   | 2.16  |          |        |      |
| まじめ勤勉    | 男  | 9.5           | 1.79  | 9.5   | 2.02  | 0.28     | .28    | .08  |
|          | 女  | 9.2           | 1.82  | 9.4   | 1.71  |          |        |      |
| 思いやり     | 男  | 8.6           | 1.81  | 9.0   | 2.02  | 2.98 †   | 1.44   | .76  |
|          | 女  | 9.1           | 1.96  | 9.3   | 1.65  |          |        |      |
| 身体的能力    | 男  | 24.4          | 5.80  | 26.0  | 6.37  | 17.82 ** | .23    | .32  |
|          | 女  | 23.6          | 5.51  | 25.7  | 5.92  |          |        |      |
| 日常的行動力   | 男  | 8.0           | 2.62  | 8.5   | 2.62  | 10.08 ** | 1.43   | .60  |
|          | 女  | 7.3           | 2.49  | 8.0   | 2.42  |          |        |      |
| 身体的耐性    | 男  | 8.9           | 2.37  | 8.9   | 2.54  | 1.16     | 2.81 † | 1.79 |
|          | 女  | 7.9           | 2.35  | 8.3   | 2.31  |          |        |      |
| 野外技能・生活  | 男  | 7.5           | 2.30  | 8.6   | 2.12  | 26.67 ** | 4.44 † | .45  |
|          | 女  | 8.4           | 1.95  | 9.3   | 2.07  |          |        |      |

\*\*p<.01, \*p<.05, †p<.10

### 3. 学校段階による生きる力の変容

学校段階は、小学生群と中学生群に分け（小学生群 55 名、中学生群 35 名）、上位クラスター、下位クラスター毎に、学校段階と期間の 2 要因混合計画による分散分析を行った。その結果、下位クラスターである、「思いやり」において、交互作用が認められ、小学生の方がキャンプ活動を通して、より能力を向上させていることが明らかになった。その他の能力要素には交互作用は認められなかった。しかし、上位クラスターの「心理的社会的能力」、「徳育的能力」、下位クラスターの、「積極性」「視野・判断」「自己規制」「自然への関心」「野外技能・生活」においては、「期間」の主効果が見られ、キャンプ期間を通して小中学生に関わらず能力を向上させていることが明らかになった。上位クラスターの「身体的能力」、下

位クラスターの「非依存」「明朗性」「日常的行動力」に関しては、「期間」、「段階」両方に主効果が見られ、もともと小学生群の方が高い得点を示しつつも、キャンプ活動を通して、さらに得点を向上させていることが明らかになった（表 5）。

### 4. 満足度の違いによる生きる力の変容

満足度に関する項目を合計し、中央値を算出した（77 点）。中央値より高い得点の者を満足度高群（ $M=81.9, SD=2.01$ ）、低い得点の者を満足度低群（ $M=65.1, SD=7.88$ ）として、満足度と期間の 2 要因混合計画の分散分析を行った。その結果、「生きる力全体」及び上位クラスターの「心理社会的能力」「徳育的能力」「身体的能力」すべてに交互作用が認められ、満足度の高い群の方が、キャンプ活動を通して生きる力を向上させていることが明らかになっ

表 5 学校段階による IKR 得点結果・分散分析結果

| 能力要素            | 学校段階 | 結果(小:中=55:35) |       |       |       | 2要因分散分析  |          |            |
|-----------------|------|---------------|-------|-------|-------|----------|----------|------------|
|                 |      | pre           |       | post  |       | 期間<br>F値 | 段階<br>F値 | 交互作用<br>F値 |
|                 |      | Mean          | SD    | Mean  | SD    |          |          |            |
| <b>生きる力</b>     | 小    | 120.3         | 19.69 | 128.3 | 20.71 | 12.58 ** | 2.67     | 2.23       |
|                 | 中    | 115.7         | 22.28 | 118.9 | 22.90 |          |          |            |
| <b>心理的社会的能力</b> | 小    | 59.9          | 10.87 | 64.2  | 10.82 | 9.71 **  | 3.45 †   | 2.91 †     |
|                 | 中    | 57.3          | 11.83 | 58.5  | 11.45 |          |          |            |
| 非依存             | 小    | 8.7           | 1.77  | 9.3   | 1.87  | 11.68 ** | 6.07 *   | .37        |
|                 | 中    | 7.8           | 2.09  | 8.3   | 2.20  |          |          |            |
| 積極性             | 小    | 8.3           | 2.37  | 9.0   | 1.88  | 7.26 **  | 1.05     | .16        |
|                 | 中    | 8.0           | 2.17  | 8.5   | 2.09  |          |          |            |
| 明朗性             | 小    | 8.8           | 2.07  | 9.7   | 1.82  | 11.07 ** | 8.43 **  | 1.37       |
|                 | 中    | 7.8           | 2.54  | 8.2   | 2.12  |          |          |            |
| 交友・協調           | 小    | 8.8           | 1.94  | 9.2   | 1.81  | .87      | 3.81 †   | 2.17       |
|                 | 中    | 8.3           | 2.12  | 8.2   | 2.04  |          |          |            |
| 現実肯定            | 小    | 8.9           | 2.01  | 9.4   | 2.27  | 1.25     | 1.70     | 3.96 †     |
|                 | 中    | 8.7           | 2.00  | 8.5   | 2.20  |          |          |            |
| 視野・判断           | 小    | 7.7           | 2.02  | 8.5   | 1.99  | 10.21 ** | 0.04     | 1.13       |
|                 | 中    | 7.9           | 2.13  | 8.4   | 1.88  |          |          |            |
| 適応行動            | 小    | 8.7           | 1.75  | 9.1   | 1.88  | .25      | 0.72     | 3.74 †     |
|                 | 中    | 8.7           | 2.20  | 8.5   | 2.06  |          |          |            |
| <b>徳育的能力</b>    | 小    | 35.2          | 6.06  | 37.0  | 6.29  | 6.04 *   | 5.58     | 2.24       |
|                 | 中    | 36.2          | 6.25  | 36.7  | 7.05  |          |          |            |
| 自己規制            | 小    | 8.9           | 2.35  | 9.2   | 1.89  | 5.39 *   | 0.14     | .10        |
|                 | 中    | 8.7           | 1.91  | 9.1   | 1.87  |          |          |            |
| 自然への関心          | 小    | 8.4           | 1.93  | 9.1   | 2.13  | 6.10 *   | 0.23     | 3.24 †     |
|                 | 中    | 8.9           | 2.28  | 9.0   | 2.37  |          |          |            |
| まじめ勤勉           | 小    | 9.4           | 1.87  | 9.5   | 1.89  | .20      | 0.08     | .08        |
|                 | 中    | 9.3           | 1.69  | 9.3   | 1.85  |          |          |            |
| 思いやり            | 小    | 8.5           | 1.83  | 9.1   | 1.77  | 1.52     | 1.18     | 5.34 *     |
|                 | 中    | 9.3           | 1.92  | 9.1   | 1.97  |          |          |            |
| <b>身体的能力</b>    | 小    | 25.2          | 5.00  | 27.2  | 5.63  | 16.06 ** | 7.73 **  | .18        |
|                 | 中    | 22.2          | 6.16  | 23.8  | 6.37  |          |          |            |
| 日常的行動力          | 小    | 8.3           | 2.17  | 8.8   | 2.14  | 9.76 **  | 8.40 **  | .06        |
|                 | 中    | 6.8           | 2.91  | 7.4   | 2.85  |          |          |            |
| 身体的耐性           | 小    | 8.8           | 2.38  | 9.0   | 2.46  | 1.08     | 4.43 †   | .01        |
|                 | 中    | 7.8           | 2.34  | 8.0   | 2.29  |          |          |            |
| 野外技能・生活         | 小    | 8.1           | 1.99  | 9.3   | 1.96  | 23.08 ** | 3.31 †   | 1.57       |
|                 | 中    | 7.6           | 2.44  | 8.3   | 2.24  |          |          |            |

\*\* $p < .01$ , \* $p < .05$ , † $p < .10$



た。さらに下位クラスターである「明朗性」「交友・協調」「現実肯定」「視野・判断」「自然への関心」「まじめ勤勉」「思いやり」「身体的耐性」「野外技能・生活」に交互作用が認められ、これらも満足度の高い群の方が、より能力を高めている結果が明らかとなった。「非依存」「積極性」「自己規制」「日常的行動力」は「満足度」「期間」に主効果が見られ、満足度が高い群の方がもともと高い得点を示しながらも、キャンプ活動を通してさらに能力を高めていることがわかった。「適応行動」は「満足度」にのみ主効果が見られ、満足度の高い群の方がもともと高い得点を示していることが明らかになった(表6)。

5. ふりかえりシートの結果

5.1 印象的なプログラム

②「3日間の活動を通して、一番思い出に残っている出来事はなんですか」の質問項目の記述内容をまとめた(図2)。記述内容に関して上位3位までを見てみると、最も記述が多かったのが、「キャンプファイヤー」で49名が記述し、2番目に多かったのが「テント泊(避難体験)」で27名、3番目に多かったのが「白崎プロジェクト」12名であった。キャンプファイヤーに関しては、回答者の95%以上が、踊りやスタンプ(劇)が楽しかったからという理由を挙げていた。テント泊に関しては、回答者の70%以上がテント泊の最中に起こった、雷雨による避難体験の事を理由に挙げており、「避難経験は初めてだった」「どきどきしたか

表6 満足度別のIKR得点結果・分散分析結果

| 能力要素     | 満足度 | 結果(高:低=43:42) |       |       |       | 2要因分散分析  |          |          |
|----------|-----|---------------|-------|-------|-------|----------|----------|----------|
|          |     | pre           |       | post  |       | 期間       | 高低       | 交互作用     |
|          |     | Mean          | SD    | Mean  | SD    |          |          |          |
| 生きる力     | 高   | 124.8         | 19.50 | 137.0 | 17.53 | 17.89 ** | 26.98 ** | 16.45 ** |
|          | 低   | 111.0         | 19.45 | 111.2 | 18.78 |          |          |          |
| 心理的社会的能力 | 高   | 62.5          | 10.60 | 68.7  | 9.04  | 14.27 ** | 31.28 ** | 13.24 ** |
|          | 低   | 54.6          | 10.23 | 54.7  | 9.29  |          |          |          |
| 非依存      | 高   | 8.9           | 1.68  | 9.8   | 1.83  | 13.47 ** | 14.17 ** | 4.84 †   |
|          | 低   | 7.8           | 2.02  | 8.0   | 1.97  |          |          |          |
| 積極性      | 高   | 8.9           | 2.34  | 9.9   | 1.47  | 8.90 **  | 27.47 ** | 5.14 †   |
|          | 低   | 7.4           | 2.00  | 7.6   | 1.76  |          |          |          |
| 明朗性      | 高   | 9.1           | 2.04  | 10.1  | 1.46  | 12.38 ** | 20.60 ** | 6.14 *   |
|          | 低   | 7.7           | 2.31  | 7.9   | 1.99  |          |          |          |
| 交友・協調    | 高   | 9.2           | 1.92  | 9.8   | 1.75  | 2.53     | 19.90 ** | 5.40 *   |
|          | 低   | 7.9           | 1.94  | 7.8   | 1.71  |          |          |          |
| 現実肯定     | 高   | 9.5           | 1.86  | 10.4  | 1.82  | 2.88 †   | 32.43 ** | 16.56 ** |
|          | 低   | 8.0           | 1.88  | 7.7   | 1.86  |          |          |          |
| 視野・判断    | 高   | 7.9           | 2.05  | 9.1   | 1.76  | 12.59 ** | 5.82 *   | 6.61 *   |
|          | 低   | 7.5           | 2.02  | 7.7   | 1.92  |          |          |          |
| 適応行動     | 高   | 9.1           | 1.91  | 9.6   | 1.94  | 0.99     | 10.55 ** | 3.11 †   |
|          | 低   | 8.2           | 1.88  | 8.1   | 1.76  |          |          |          |
| 徳育的能力    | 高   | 36.5          | 5.75  | 39.4  | 5.76  | 9.85 **  | 9.36 **  | 13.18 ** |
|          | 低   | 34.2          | 6.27  | 34.0  | 6.45  |          |          |          |
| 自己規制     | 高   | 9.2           | 2.13  | 9.7   | 1.71  | 5.50 *   | 6.14 *   | 0.58     |
|          | 低   | 8.3           | 2.18  | 8.6   | 1.89  |          |          |          |
| 自然への関心   | 高   | 8.7           | 2.15  | 9.7   | 1.99  | 8.74 **  | 3.95 †   | 9.57 **  |
|          | 低   | 8.3           | 2.00  | 8.3   | 2.25  |          |          |          |
| まじめ勤勉    | 高   | 9.7           | 1.65  | 10.3  | 1.58  | 0.43     | 13.42 ** | 7.39 **  |
|          | 低   | 8.9           | 1.92  | 8.6   | 1.82  |          |          |          |
| 思いやり     | 高   | 9.0           | 1.84  | 9.7   | 1.53  | 3.78 †   | 4.18 *   | 7.13 **  |
|          | 低   | 8.7           | 1.97  | 8.5   | 2.00  |          |          |          |
| 身体的能力    | 高   | 25.8          | 5.24  | 28.9  | 5.01  | 17.21 ** | 21.07 ** | 10.94 ** |
|          | 低   | 22.1          | 5.71  | 22.5  | 5.66  |          |          |          |
| 日常的行動力   | 高   | 8.5           | 2.35  | 9.4   | 2.05  | 8.00 **  | 15.84 ** | 3.39 †   |
|          | 低   | 6.9           | 2.69  | 7.1   | 2.49  |          |          |          |
| 身体的耐性    | 高   | 9.0           | 2.39  | 9.5   | 2.30  | 0.43     | 10.47 ** | 5.32 *   |
|          | 低   | 7.9           | 2.43  | 7.6   | 2.28  |          |          |          |
| 野外技能・生活  | 高   | 8.3           | 2.12  | 10.0  | 1.70  | 30.46 ** | 16.07 ** | 10.67 ** |
|          | 低   | 7.4           | 2.16  | 7.8   | 1.96  |          |          |          |

\*\*p<.01, \*p<.05, †p<.10

ら」といった理由が挙げられていた。白崎プロジェクトに関しては、「森がきれいになって気持ちよかった」「協力して行えたから」「自然を守れたから」といった記述が見られた。

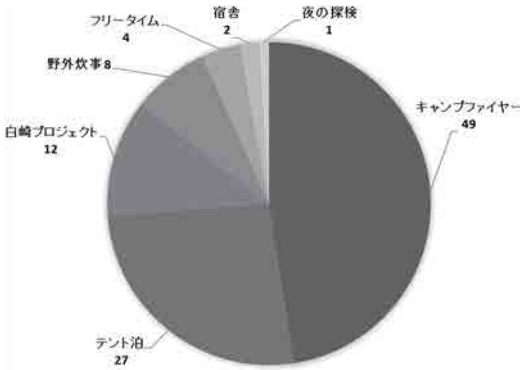


図2 ふりかえりシート記述内容集計結果

## 5.2 キャンプ参加者の体験

自由記述からKJ法の手法を参考にし、グルーピングを行った結果、以下のように分けられた。

小学生は、「他者との関わり合いに関する気付き」、「協力体験」、「ポジティブな他者との関係」、「ネガティブな他者との関係」、「信頼感」、「自然への気付き」、「自然への恐れ」、「自然への敬意・大切さ」、「自然を守っていく気持ち」、「他者との関わり合い」、「家庭での手伝い」「野外技術そのもの」、「規則正しい生活」、「自立」の計14の下位カテゴリーが生成された。さらに、「他者との関わり合いに関する気付き」、「協力体験」、「ポジティブな他者との関係」、「ネガティブな他者との関係」、「信頼感」の5つの下位カテゴリーを取りまとめ、「自分自身と

表7 ふりかえりシートグループ分け結果 (小学生)

| 上位カテゴリー            | 下位カテゴリー                | コメント例   |
|--------------------|------------------------|---|
| 自分自身と友だちとの関わり      | 他者との関わり合いに関する気付き       | 自分のことだけ考えると友だちに迷惑がかかる<br>みんな考えが違う<br>みんないい所がある                            |
|                    | 協力体験                   | 火が消えそうになったら薪を持ってきてくれた<br>しっかりしている人に支えてもらった<br>のこぎりが疲れた時、代わってあげたし、代わってもらった |
|                    | ポジティブな他者との関係           | 友だちができて楽しかった<br>楽しくしゃべれた<br>意外に友だちとすぐに仲良くなった                              |
|                    | ネガティブな他者との関係           | 自分と友だちではあまり関わりはないと思う<br>友だちにちょっとだけ迷惑をかけてしまった<br>ふざけたら怒られる                 |
|                    | 信頼感                    | 信頼を感じた<br>仲間といると安心する<br>疲れた時は、みんなにいろいろやってもらっていいとわかった                      |
| 自分自身と自然との関わり       | 自然への気付き<br>(虫、気、気温、気候) | いろいろな虫がいる<br>草がいっぱい、木が大量だった<br>昼と夜は全然感じが違った                               |
|                    | 自然への恐れ                 | 雷が怖かった<br>夜は暗いから怖かった<br>自然は好きだけど、何が起こるかわからない怖い所                           |
|                    | 自然への敬意・大切さ             | 自然は人間にとって大切<br>自然の気持ちを考えることが大切<br>自然を大切にしないといけない                          |
|                    | 自然を守っていく気持ち            | 自然を守っていきたい<br>ゴミを外に捨てない<br>森を破壊しないようにする                                   |
| 日常生活で<br>活かしていきたい事 | 他者との関わり合い              | 初対面でも仲良く交流する<br>いろいろな人と友達になりたい<br>いろいろな人としゃべる                             |
|                    | 家庭での手伝い                | 料理を手伝う<br>家でも自分で食事を作る<br>料理をいろいろと作ってみたい                                   |
|                    | 野外技術そのもの               | 火の起こし方を活かしたい<br>テントの組み立て方を活かしたい<br>家族のためにテントを作りたい                         |
|                    | 規則正しい生活                | 早寝早起き<br>好き嫌いを無くす<br>規則正しい生活をする   |
|                    | 自立                     | 自分で考えて行動する<br>自分のやれることは自分でやる<br>5分前行動をする                                  |

友だちとの関わり」とし、「自然への気付き」、「自然への恐れ」、「自然への敬意・大切さ」、「自然を守っていく気持ち」の4つの下位カテゴリーを取りまとめ、「自分自身と自然との関わり」とし、「他者との関わり合い」、「家庭での手伝い」、「野外技術そのもの」、「規則正しい生活」、「自立」の5つの下位カテゴリーを取りまとめ、「日常生活で活かしていきたいこと」とし3つの上位カテゴリーが生成された(表7、図3)。

中学生は、「他者との関わり合いに関する気付き」、「協力体験」、「ポジティブな他者との関係」、「ネガティブな他者との関係」、「自然との関係」、「自然への恐れ」、「自然への気付き」、「自然への敬意・大切さ」、「自然破壊」、「自分自身と自然とのかかわり」、「自然との関わり合い」、「家庭での手伝い」、「野外技術そのもの」、「自立」の計13の下位カテゴリーが生成された。さらに、「他者との関わり合いに関する気付き」、「協力体験」、「ポジティブな他者との関係」、「ネガティブな他者との関係」の4つの下位カテゴリーを取りまとめ、「自分自身と友だちとの関わり」とし、「自然との関係」、「自

然への恐れ」、「自然への気付き」、「自然への敬意・大切さ」、「自然破壊」の5つの下位カテゴリーを取りまとめ、「自分自身と自然との関わり」とし、「自然との関わり合い」、「家庭での手伝い」、「野外技術そのもの」、「自立」の4つの下位カテゴリーを取りまとめ、「日常生活で活かしていきたいこと」とし3つの上位カテゴリーが生成された(表8、図4)。

考察

本研究の目的は、キャンプによる生きる力の変容を、性差、学校段階、満足度別に明らかにすることであった。

1. 参加者の生きる力の変容

参加者全体の生きる力の変容は、「心理的社会的能力」「徳育的能力」「身体的能力」すべてに有意な向上が見られるという結果となった。今まで「心理的社会的能力」や「徳育的能力」に対して効果が高いという報告がなされていたが(橘ら, 2003; 中川ら, 2005; 遠藤ら, 2006)、本研究においてはすべての能力が向上したという結果となった。これは先行研究にあるように、テント泊体験や、猛暑、豪雨といっ

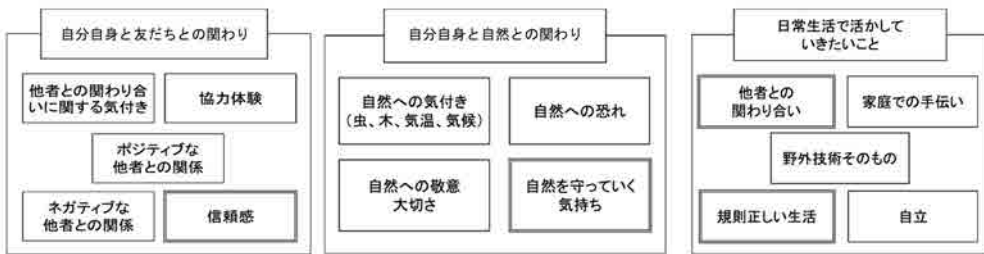


図3 小学生ふりかえりシートグループ分け結果 (二重線：小学生にのみ見られたグループ)

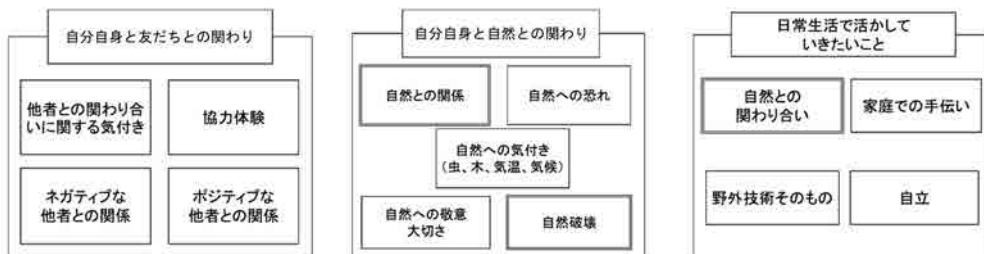


図4 中学生ふりかえりシートグループ分け結果 (二重線：中学生にのみ見られたグループ)

表8 ふりかえりシートグループ分け結果(中学生)

| 上位カテゴリー            | 下位カテゴリー                | コメント例   |
|--------------------|------------------------|---|
| 自分自身と友だちとの関わり      | 他者との関わり合いに関する気付き       | 性格の違いがあった<br>みんな考え方が違う<br>友だちの大切さに気づいた<br>友だちと協力した                    |
|                    | 協力体験                   | 協力について深く考えることができた<br>炊事で協力する大切さを感じた                                   |
|                    | ポジティブな他者との関係           | 話せるようになってよかった<br>普通に話せた<br>仲良くなった                                     |
|                    | ネガティブな他者との関係           | あまり話けなかった<br>初めてで緊張してしゃべれなかった<br>友だちを作るのが苦手だった                        |
| 自分自身と自然との関わり       | 自然との関係                 | 自然は言葉を使わない<br>自然にお世話になっている<br>たくさんの自然と関わりたい                           |
|                    | 自然への気づき<br>(虫、気、気温、気候) | 虫が多かった<br>海風が気持ちいい<br>星がすごくきれい  |
|                    | 自然への恐れ                 | 夜が怖い<br>自然は誰に対しても厳しい<br>自然は厳しい  |
|                    | 自然への敬意・大切さ             | 自然を大切に<br>自然をほっとくもののため<br>手を加えてはいけないところもある                            |
|                    | 自然破壊                   | 人は木を切りすぎ<br>自然があふない<br>人が自然を壊していると思っていた                               |
|                    | 自然との関わり合い              | 自然がほつたらかしなのを伝えたい<br>自然の事を考えていきたい<br>自然を大切にしていきたい                      |
| 日常生活で<br>活かしていきたい事 | 家庭での手伝い                | もっと料理をする<br>洗い物をたくさんする<br>料理を手伝いたい                                    |
|                    | 野外技術そのもの               | キャンプファイヤーのレクリエーションを覚えたい<br>テント張りや野外炊事など他のキャンプで活かす<br>他のキャンプで習ったことを活かす |
|                    | 自立                     | 話を聞く<br>自分の事は自分でしよう<br>集団行動を大切に                                       |

た過酷な自然環境、野外炊事などの不便な生活体験をしたことが効果の得られた一つの要因であると考えられる。一方、本キャンププログラムの中には克服的要素を含んだ活動を行っていないが、上記のような生活環境に加え、ふりかえりシートから読み取ることのできた、「テント泊（避難体験）」といった経験が自ずと克服的要素を生起させていた可能性が示唆される。さらに、白崎プロジェクトに向け、問題意識や課題を明確にした後に、プログラムを行った。そういったプログラムに向けた「レディネス」を高める働きかけによって、課題解決・問題解決的要素が生まれ、プロジェクト終了後には達成感や充実感といった感情が生起したのではないかと考えられる。その結果、「心理的社会的能力」「徳育的能力」といった能力要素に影響を及ぼしたものと考えられ

る。さらに、白崎プロジェクトではローピングや、のこぎり・なたを扱う野外技術に加え、手つかずの森の中での活動という過酷な活動状況であったことから、それらが「身体的耐性」や「野外技能・生活」への自己評価を向上させ、結果として「身体的能力」に関しても向上が見られたのではないかと考えられる。これらのことから、効果を及ぼす要因として、テント泊や過酷な自然環境、生活体験、克服的要素を含んだ活動に加え、課題解決・問題解決的要素を含んだ活動を行うことが有効であると考えられ、そのためにもプログラムに関するレディネスを高める働きかけを行うことが大切であると示唆される。

## 2. 性別による生きる力の変容

性別による生きる力の変容を比較した結果、性差は見られなかったものの、上位カテゴリー

をはじめとする諸能力がキャンプ活動を通して向上していることが明らかとなり、また下位カテゴリーの「非依存」に関してのみ、男性の方がもともと高い得点を示していることが明らかとなった。これは、大阪府キャンプ協会(2006)の、生きる力の変容には男女差があるとする報告とは異なる結果であったが、一方で男女差は見られなかったとする矢野(2007)や、男女差は見られなかったが、男女によって生きる力を成す要素に根本的な違いがあるという青木ら(2005)の報告に準ずるものになった。この結果から考察すると、性差が見られたとする大阪府キャンプ協会(2006)の研究では、対象が大学生であり、性差が見られなかったとする矢野(2007)や青木(2005)、本研究の対象者は小中学生であった。一般に小学校高学年から中学生は思春期であり、心身共に発達に個人差があり、体力や精神発達に性差が表れ始める時期でもあるが、まだ性差が見えにくい時期でもある。一方大学生になると、心身共に発達が安定し、性差が完全に表れている状態である。こういった、発達段階の差がキャンプ活動の向上効果に関して影響していることが考えられる。このことから今後、発達段階、性別共に視野に入れ、研究を深めていくことにより、性別の違いによるキャンプ効果の違いが明らかになるだろう。

### 3. 学校段階による生きる力の変容

学校段階別に生きる力の変容を比較した結果、小学生の方が「生きる力」の諸能力に関して、自己評価が高く、「思いやり」に関して特に得点が向上した結果となった。この結果は福島ら(2006)の、中学生よりも小学生の方が生きる力得点を高く示したという結果と一致している。本キャンプの印象的な出来事として、1日目の雷雨によるテント泊から体育館へ緊急避難したことが挙げられる。本部スタッフやカウンセラーが体育館への避難を呼びかけたが、中学生は緊急事態をむしろ楽しんでる雰囲気もあり、体育館に避難した後も明るい雰囲気、ふざけあったり、話し込んでいる様子が見られた。一方小学生は、恐

怖心からか、急いで体育館へ向かい、体育館でも数人で固まって眠る様子が見られた。このことから、不安や恐怖心を感じ、互いに助け合う気持ちが生まれたことで、「思いやり」に関して高い向上を示したのではないだろうか。また、本キャンプでは野外炊事を豊富に行っており、2日目の夕食パーティの場面では、カウンセラーに教わった野外生活技術を生かし、参加者だけで食事を作るような体制をとった。さらに、野外炊事を行う時間に平行して、中学生は白崎プロジェクトのミーティングを行っていたため、実際には小学生だけで全員の食事を作るという状況であった。結果、見事おいしい食事を作り、夕食パーティは成功に終わった。野外炊事を行う中には、おいしい食事を作るというゴールへ向け、作業分担や、協力といった課題達成に向けた様々な能力が必要となる。本キャンプにおいても、参加者は時にケンカをしつつも、調理組、火起こし組といった作業分担を行ったり、食材を一緒に取りに行くといった協力する姿が見られた。さらにそのような経験に加え、最終的に夕食パーティの成功といった成功体験が、小学生の生きる力の向上につながったのではないだろうか。

### 3-2. ふりかえりシートから見る学校段階の特徴

ふりかえりシートのグループ分け結果及び、学校段階別の生きる力の変容から各学校段階の特徴を考察すると、小学生は、「自分自身と友だちとの関わり」において、中学生の記述からは見られなかった「信頼を感じた」「仲間と一緒にいると安心する」といった「信頼感」がグルーピングされている。また「日常生活で活かしていきたいこと」でも、中学生の記述には見られなかった、「いろいろな人と仲良くなりたい」や「初対面でも仲良く交流する」といった、「他者との関わり合い」がグルーピングされており、小学生のほうがキャンプ活動中、キャンプ後において、対人関係に関しての満足感や大切さを強く感じていることが



伺える。また「しっかりしている人に支えてもらった」や「火が消えそうになったら薪を持ってきてくれた」といった「協力体験」に関する記述も見られ、対人関係がうまくいった満足感や、他者から支えてもらった体験が、生きる力の「思いやり」に関する得点へと影響したことが考えられる。文部科学省の示す発達段階の特徴にもあるように、集団活動に対して主体的に関与していたことが伺え、学童期においてキャンプの特徴である、「集団活動」といった側面はポジティブに反映されやすいことが示唆された。

一方で、中学生特有のグループ分けとして「自分自身と自然とのかかわり」では、「自然にお世話になっている」「自然ともっと関わりたい」といった記述内容の「自然との関係」のグルーピングや「人が自然を壊していると思った」といった記述内容の「自然破壊」に関するグルーピングがなされた。また、「日常生活で活かしていきたいこと」においても、「自然を大切にしていきたい」「自然の事を考えていきたい」といった記述内容の「自然との関わり」のグルーピングがあり、中学生が自然に対して強い関心をもっていることがわかる。これは中心となって白崎プロジェクトを進行していく存在であったことから、自然に対する問題意識や課題解決に向ける意識が高くなったものと考えられる。小学生に比べ、対人関係に関する記述が少なかった事に関しては、文部科学省（2009）は、「青年期は仲間同士の評価を強く意識する反面、他者との交流に消極的な傾向も見られる」と述べており、思春期特有の課題が本キャンプの対人関係に関しても影響したものと考えられる。

以上の事を鑑みると、一概にキャンプ活動は小学生期の方が「生きる力」の育成に有効であると言い切ることは出来ないが、キャンプ活動が小学生の「生きる力」に及ぼす影響は非常に大きいものであるとは言えるだろう。中学生に関しても、ある一定の能力向上は見られたが、思春期特有の課題も意識し、発達段階にあった運営・指導を行っていく必要が

あるだろう。学校段階による比較については、今後は発達段階などの要因も視野に入れ、慎重に評価を行っていく必要があるだろう。

#### 5. 満足度別による生きる力の変容

キャンプに対する満足度の違いから比較した結果、満足度を高く評価している群の方が、生きる力の諸能力を向上させていることが明らかになった。松村（2001）は、キャンプ参加者が多種多様なプログラムをやり遂げることによって得られる達成感から、自分自身に自信が付き、自己肯定力を身に着けることができたと報告をしている。黒島ら（2009）は、無人島キャンプを通じて参加者の満足感や達成感が変化しつつも、次第に高まり、自分自身を肯定的に捉え、自己成長にプラスに影響している傾向が伺えたと報告している。井澤ら（2011）は満足度が自身に対する気づきへ、影響を与えていることが明らかになったとする報告をしており、これまで「満足度」がキャンプ活動を通じた自己成長に関わっていることが示唆されている。本研究においてもふりかえりシートから読み取れるように、キャンプファイヤーの楽しかった経験や、刺激的な避難経験、白崎プロジェクトといったプログラムが達成感や満足感に結びつき「生きる力」の向上に大きく影響していることが考えられる。さらに、キャンプ事前の「生きる力」得点を見ると、満足度高群の方が、「自然への関心」を除くすべての項目で、もともと高い得点を示す結果となっていることから、そもそもキャンプへ前向きに参加していたり、各プログラムに対して肯定的に捉え、前向きに活動する事ができたとも考えられる。しかし本研究で「満足度」の関わりについて十分に明らかになってきたとは言えず、今後は参加者の「レディネス」と「満足度」の関係など、視野を広げさらに研究を深めていく必要があるだろう。

#### 結論

本研究の目的はキャンプによる生きる力の変容を、性差、学校段階、満足度別に明らかにすることであった。その結果、以下の知見

を得た。

1) キャンプ活動を通して参加者の「生きる力」は向上した。

2) キャンプ活動による「生きる力」の変容には性差は見られなかった。

3) キャンプ活動による「生きる力」の変容には学校段階によって差があり、下位尺度の「思いやり」に関して小学生の方が中学生よりも向上した。

4) キャンプ活動による「生きる力」の変容には、キャンプ満足度は大きく影響し、満足度の高い群の方が、「生きる力」及び、「心理的社会的能力」「徳育的能力」「身体的能力」すべての能力要素が向上した。

#### 参考文献

- 青木康太郎・福田芳則・谷健二・下地隆・小松由美 (2005) 水辺活動におけるウォーターワイズプログラムが児童の生きる力に及ぼす効果. 野外教育研究, 8 (2) : 59-70.
- 井澤悠樹・松永敬子 (2011) マリン&レクリエーション実習のプログラム評価に関する事例研究 - 自己概念の変容とプログラム満足度による少人数プログラムの検証 -, 大阪女学院大学紀要, 8号 : 216-226.
- 江口達也・池島明子・福田芳則 (2012) 教育キャンプが参加者の社会人基礎力と生きる力に及ぼす影響 - 社会人基礎力と生きる力の関係に着目して -, 大阪体育大学紀要, 第43巻 : 67-76.
- 遠藤浩・築山泰典・竹内早代 (2006) 教育キャンプが参加児童の「生きる力」に及ぼす影響, 日本野外教育学会第9回大会プログラム, 研究発表抄録集 日本野外教育学会 : 24-25.
- 大阪府キャンプ協会 (2006) キャンプは生きる力を育むのか. 大阪府キャンプ協会研究紀要 : 7-29.
- 神田亮・佐藤健 (2012) 児童の組織キャンプにおける MHPC 尺度と IKR 尺度の変容. 別府大学短期大学部紀要, 第31巻 : 125-131.
- 黒島直人・服部英二・吉田章・林丈 (2009) 無人島キャンプ体験が青年に及ぼす教育効果について, 国立青少年教育振興機構研究紀要, 第9号 : 133-142.
- 瀧直也・新島邦彦・平野吉直 (2007) 通学型キャンプが子どもの「生きる力」に及ぼす影響, 国立オリンピック記念青少年総合センター研究紀要, 第7号 : 1-14.
- 橘直隆・平野吉直 (2001) 生きる力を構成する指標, 野外教育研究. 4 (2) : 11-16.
- 橘直隆・平野吉直・関根章文 (2003) 長期キャンプが小中学生の生きる力に及ぼす影響. 野外教育研究, 6 (2) : 1-12.
- 中川もも・岡村泰斗・黒澤毅・荒木恵里・米山絵里 (2005) 長期・短期キャンプが小中学生の生きる力に及ぼす効果. 野外教育研究, 8 (2) : 31-43.
- 花田道子・富山浩三・西田順一 (2004) 完全学校週5日制に対応したスポーツ・野外活動経験が生きる力に及ぼす影響について, 九州女子大学紀要, 第41巻4号 : 11-22.
- 福島康彦・福満博隆 (2006) 小中学校の宿泊体験学習における生きる力の変容 (II), 日本野外教育学会第9回大会プログラム, 研究発表抄録集, 日本野外教育学会 : 22-23.
- 福田芳則・池島明子・横山誠 (2009) 生活状況の厳しい教育キャンプが参加者の「生きる力」に及ぼす影響. 大阪体育大学紀要, 第40巻 : 59-71.
- 松田幸也 (2005) 宿泊学習が参加児童の「生きる力」に及ぼす影響, 日本野外教育学会第8回プログラム, 研究発表抄録集, 野外教育学会 : 46-47.
- 松村純子 (2001) 「生きる力を育む, 長期自然体験プログラム『妙高キッズアドベンチャー』」～「発見」をねらいとした効果的な活動プログラムを目指して～国立オリンピック記念青少年総合センター研究紀要, 創刊号 : 55-64.
- 矢野正 (2007) 5泊6日の臨海学校が児童の生きる力に及ぼす効果, 野外教育研究 11 (1) : 51-64.
- 社団法人日本キャンプ協会 (2011) : キャンプ白書 2011.

19. 文部科学省（2008）中央教育審議会答申。  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/)

20. 文部科学省（1996）青少年の野外教育の充実について。  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chou-sa/sports/003/toushin/960701.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chou-sa/sports/003/toushin/960701.htm)

21. 文部科学省（1997）21世紀を展望した我が国の教育の在り方について。  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/old\\_](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/old_)

[chukyo/old\\_chukyo\\_index/toushin/1309579.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/old_chukyo_index/toushin/1309579.htm)

22. 文部科学省（2013）今後の青少年の体験活動の推進について（答申）。  
[http://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/shingi/toushin/\\_icsFiles/afield-file/2013/04/03/1330231\\_01](http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afield-file/2013/04/03/1330231_01).

（平成 27 年 11 月 19 日受付，平成 28 年 2 月 9 日受理）

添付資料

## 調査のお願い

キャンプを経験することによる効果を測定するために「地域ユース・ジュニアリーダー養成キャンプ」を対象にアンケート調査を行うこととなりました。お手数ではありますが、ご協力の程お願いします。氏名を書いていただきますが、内容については数値化され統計的に処理されますので、個人が特定されることはありません。なお、ご回答いただいた内容は、この調査以外の目的に利用することや、ご迷惑をおかけすることはありません。

平成27年8月

大阪体育大学 徳田真彦

## アンケート

記入にあたってのお願い

で選択する回答は、このように濃くチェックを入れてください。

なまえ ( \_\_\_\_\_ )

**Q1.現在のあなた自身の考えや、行動についてお聞きします。以下の28項目それぞれについて、当てはまる回答を選びその口に✓してください。必ずすべての項目に回答してください。**

|                         | 非常に<br>当てはまる             | 当てはまる                    | やや<br>当てはまる              | あまり当て<br>はまらない           | 当てはまら<br>ない              | 全く当て<br>はまらない            |
|-------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. いやなことは、いやとはっきり言える。   | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2. 人のために何かをしてあげるのが好きだ。  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3. 先を見通して、自分で計画が立てられる。  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 4. 暑さや寒さに負けない。          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 5. 誰にでも話しかけることができる。     | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 6. 花や風景などの美しいものに、感動できる。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 7. 多くの人に好かれている。         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 8. 人の話をきちんと聞くことができる。    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 9. 自分のことが好きである。         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 10. ナイフ・包丁などの刃物を上手に使える。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 11. 自分から進んで何でもやる。       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 12. 嫌がらずに、よく働く。         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 13. 早寝早起きである。           | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 14. 自分勝手な、わがままは言わない。    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 15. 小さな失敗をおそれない。        | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 16. 人の心の痛みがわかる。         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

|  | 非常に<br>当てはまる             | 当てはまる                    | やや<br>当てはまる              | あまり当て<br>はまらない           | 当てはまら<br>ない              | 全く当て<br>はまらない            |
|--|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 17. 自分 <small>もんだいでん</small> の問題点や課題を見つけることができる。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 18. とても痛いけがをしても、我慢 <small>がまん</small> できる。       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 19. 失敗しても、立ち直るのが早い。                              | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 20. 季節 <small>きせつ</small> の変化を感じることができる。         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 21. だれとでも仲良くできる。                                 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 22. その場にふさわしい行動 <small>あひさつ</small> ができる。        | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 23. だれにでも挨拶 <small>あいさつ</small> ができる。            | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 24. 洗濯機 <small>せんたくき</small> がなくても、手で洗濯できる。      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 25. 前向き <small>まえむき</small> に、ものごとを考えられる。        | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 26. 自分に割り当てられた仕事はしっかりやる。                         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 27. からだを動かしても、疲れ <small>つか</small> にくい。          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 28. 腹 <small>はら</small> がたってもおさえることができる          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

**Q2 このキャンプを通じて、あなたが感じたことについておたずねします。**

|   | 非常に<br>当てはまる             | 当てはまる                    | やや<br>当てはまる              | あまり当て<br>はまらない           | 当てはまら<br>ない              | 全く当て<br>はまらない            |
|---|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. このキャンプは楽しかった   | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2. このキャンプの体験はこれからの生活に役立つ                                  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3. このキャンプで自分は成長できたと思う                                     | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 4. また機会があればこのようなキャンプに参加したい                                | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 5. このキャンプに満足した  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 6. 友だちがいっぱいできた  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 7. テントでの宿泊 <small>しゆくほく</small> は楽しかった                    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 8. 施設 <small>しせつ</small> での宿泊 <small>しゆくほく</small> は楽しかった | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 9. まき割り <small>まきわり</small> は楽しかった                        | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 10. 火起こしは楽しかった  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 11. 調理 <small>ちようり</small> するのは楽しかった                      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 12. 班での活動は楽しかった   | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 13. いろいろな学年 <small>がくねん</small> がいて楽しかった                  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 14. カウンセラー <small>かうんせらー</small> がいて楽しかった                 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |